

氏名（ふりがな）	渡邊一雄（わたなべ・かずお）	
生年	昭和 18 年（西暦 1943 年）	
広島大学在職時の主要な活動歴	助教授から教授として計 24 年間勤務。総合科学部評価委員会委員長、学生生活委員長など。	
退職年月	平成 18 年 3 月（西暦 2006 年 3 月）	
広島大学での最終所属部局	総合科学部	
退職後の勤務先	（独立行政法人・科学技術振興機構）研究開発戦略センター・シニアフェロー（平成 21 年 3 月まで）。（平成 15 年～18 年は広島大学と兼任） （文部科学省）新興・再興感染症研究拠点形成プログラム・プログラムオフィサー（平成 18 年～22 年）	
現職	非常勤講師として広島女学院大学、広島経済大学、広島都市学園大学、広島大学など（現在に至る）	
専門分野	生物学（細胞生物学、動物発生学、種生物学）、基礎医科学（ウイルス学、ガン、感染症、免疫生物学）	
専門に関わらない特技・趣味等	日本史・日本文学、美術（特に絵画）、音楽・演劇・舞台全般（元演劇部。フルート少々）、スポーツ（特に野球。広島六大学教職員野球リーグ 8 年間在籍）	
海外での活動歴	Case Western Reserve 大学・客員助教授（米国オハイオ州クリーブランド）	
国内での活動歴	日本細胞生物学会評議員、日本鱗翅学会評議員、日本鱗翅学会中国支部長など。（全国大会で発表する大きな学会）日本動物学会、日本細胞生物学会、日本発生生物学会（以上 3 学会のどれかで必ず毎年）。 その他、日本ウイルス学会、日本ガン学会、日本鱗翅学会などで数回発表。	
地域での活動歴	広島市動植物園・公園協会理事、絵下山デジタルテレビ塔設置事業に係る環境保全委員会会長、広島市ハト対策委員会委員長など	
著書など	『生物物理学実験講座・細胞生物物理研究法Ⅱ、細胞培養法』（吉岡書店, 1969）、『発生と分化』（共立出版, 1977）、『組織培養——基礎と応用』（朝倉書店, 1978）、岩波ジュニア科学講座『5. 生命とはなにか』と『6. からだの働きと健康』、『脊椎動物発生学』（培風館, 1989）、『生物学と人間』（裳華房, 2000）など（共著）	
「広島大学マスタース広島」での活動歴	①代表幹事、②広島大学平和科目担当（平和と人間 C および D）兼総括責任者、③広島大学日韓交換留学生予備教育、などを担当。 本会の総会、懇親会、見学会などの諸行事はすべて参加。	
「広島大学マスタース広島」での可能な活動等	市民への講演や討論会への参加（①基礎医学と生物学、②環境問題、③動植物・昆虫、④生物学と教育、⑤市民と大学など）。 自然観察会（昆虫、動植物など）の指導、など。	
その他 P R	動物発生学（細胞分化論、形態形成論）が本来の専門ですが、①大阪大学微生物病研究所と鐘紡ガン研究所で 12 年間、基礎医学分野に勤務し、②動物発生学からの展開として自然の中における蝶・蛾の研究を 50 年来続け、③最後に 6 年間、文部科学省のライフサイエンス研究戦略（競争的資金の企画・配分・財務省交渉）に携わったので、カバーする分野の幅が広いことが特徴。	